

7番（小川義昭君）

確かに白山市内の主な文化施設の管理運営、これは、白山市文化協会、それと地域振興公社がことしの4月から5年間の指定管理を受けているということもありますので、今、市長が申しましたように、このことについては将来的な方向性として、市として考えていただければなというふうに思いますので、よろしく願いいたします。

続いて、文化関連として2つの項目について質問いたします。

1つは、松任駅前の松任ふるさと館・紫雲園の改修についてであります。

この件につきましては、さきの6月会議において市長に提言いたしましたところ、「それ相応の改修が必要と判断されれば、バリアフリー化も含め使い勝手のよい施設となるよう対応したい」との答弁でございましたが、今会議ではさらに一步踏み込んでお尋ねいたします。

現在、ふるさと館は「ふるさと」という冠を持ちながら、果たして「ふるさと」を象徴するような使い方がなされているのでしょうか。日本の近代化が進んだ明治期以降、この建造物は旧松任地区における産業の象徴の一つでもあり、貴重な郷土の産業遺産、文化遺産と申してもよいでしょう。今後はそうした視点をより明確にした常設展や関連催事を行う拠点として使用する一方、飲食も可能な白山市の迎賓館の一つとして再整備することなども視野に入れるべきではないでしょうか。

再整備の方向が定まれば、おのずと改修の方向性も明確になると考えますが、市長の具体的な御所見を賜りたいと思います。よろしく願いいたします。